

〔国際会議開催〕

申請者	東京工業大学 工学院システム制御系 教授 井村 順一	2225001
国際会議名称	第 22 回国際自動制御連盟世界大会 The 22nd World Congress of the International Federation of Automatic Control	
開催期間	2023 年 7 月 9 日～7 月 14 日（これに先立つ 7/8～7/9 に Workshop/Tutorial を開催）	
開催場所	パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）	
申請者の役割	実行委員長	

概要：

IFAC World Congress は、国際自動制御連盟（International Federation of Automatic Control, IFAC）が 3 年おきに開催する自動制御分野最大の国際会議であり、今回で 22 回目を迎える。長年の招致活動により、2016 年の理事会投票で 2023 年の日本（横浜）開催が決定され、同時に東京大学の浅間一教授が 2020-2023 期の IFAC 会長として選出された。日本開催は 1981 年の京都開催以来 42 年ぶりである。

本大会では、環境・エネルギー・安全安心といった地球規模の社会的課題解決を広い意味のシステム制御の革新によって実現し、新たな社会的価値を創出する大会となることを目指し、「Wa: Control for Solving Societal Problems and Creating Societal Values（わ：システム制御による社会的課題の解決と価値の創造）」をメインテーマに掲げた。世界大会ならではのイベントも数多く企画され、世界一流のエキスパートによるプレナリー講演、新たな研究の方向性を議論するパネルディスカッション、自動制御との親和性が高まりつつある機械学習や AI に関するチュートリアル、関連産業分野の動向、各国研究助成機関の動向や自動制御の歴史を紹介するフォーラム等を実施、また、基礎的な学術的研究の面からは、研究者が最新の理論や応用研究の成果を発表する場としての役割を果たした。参加者総数は 62 か国から合計 3,206 名（内、日本人 848 名）におよび、334 件のテクニカルセッションで合計 2,118 件におよぶ研究発表が行われた。

7/9 のオープニングセレモニーでは天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、その様子はテレビ等でも報道され注目を集めた。特に天皇陛下より開会に向けた英語でのスピーチを頂戴し、自動制御の発展が社会持続性の向上に大きな役割を果たしている旨述べていただいたことは大会参加者に感銘を与えた。